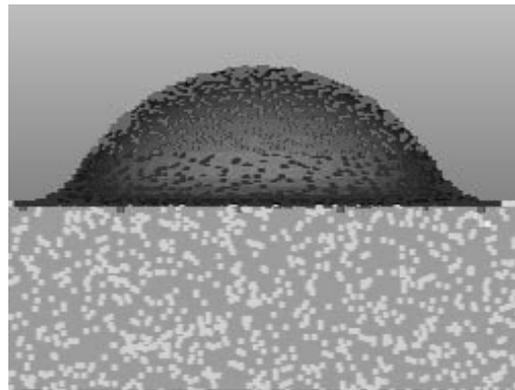


## ニュートラルが突起検出ツール関連の特許を取得

製造業向けの業務システムの開発などを手掛けるニュートラル(名古屋市中区、小屋晋吾社長)は4月11日、突起検出ツール「NTech Protrusion Checker(エヌテック・プロトリュージョン・チェッカー)」に搭載されたアルゴリズム(計算手順)に関する特許権を3月29日に取得したと発表した。

同ツールは、自動車部品の点群データから安全基準に満たない突起物の形状を短時間で算出できる。従来は作業者が人手で試作品の突起物の検査をしていた。ソフトウェアを使って自動化する方法もあるが、計算処理に長時間かかる上、突起物があれば設計データも手直しする必要がある。一方、同ツールは3DCADデータ上の曲面形状を点群データに変換(=写真)し、その曲がり具合から曲率半径



を算出するため、5分～15分程度で突起物の形状を測定できる。検査時間を大幅に削減でき、試作開発のリードタイムを短縮できる。同社は自動車部品の他、二輪車や自転車、玩具業界などにも同ツールを提案する考えだ。